

施策調査専門委員会の検討状況について

【 第68回施策調査専門委員会（R6.10.21） 】

- <報告> 1 第54回県民フォーラム開催結果について
2 施策懇談会の実施について
3 県内におけるPFASの状況について
- <議題> 1 令和5年度モニタリング結果について
・河川モニタリングについて
・森林モニタリングについて
2 令和5年度点検結果報告書案について

<主な意見等（要旨）>

【 報告 1 】 第54回県民フォーラム開催結果について

- 事務局よりフォーラムで寄せられたアンケート結果等について報告があり、委員からは現場の森林組合から実態の報告を頂いたことが大変良かったとの感想があった。

【 報告 2 】 施策懇談会の実施について

- 前回の県民会議等での意見を受け、各委員が所属する委員会、作業チームを検討対象とするなど事務局より修正後の実施概要案について報告があった。委員からは、客観的な県民会議の評価の必要性について意見が出た。

【 報告 3 】 県内におけるPFASの状況について

- 環境課より県内のPFASの状況について報告があり、次回の県民会議に向けて、水道では不検出であった等の情報を追加する意見が出た。

【 議題 1 】 令和5年度モニタリング結果について

- 森林のモニタリング調査結果について、これまでのモニタリング結果を活用して、丹沢の土壌侵食シミュレーションを再検討した。
- 森林生態系効果把握調査について、野ネズミの糞調査の結果、多種の植物を摂取していることがわかり、生物多様性を高まっていることが示唆された。定点カメラによる調査では、箱根地区でのシカの雌の撮影頻度が上がっており、定着が懸念されることが報告された。
- 河川モニタリングについて、令和5年度の相模川における調査結果が報告された。窒素やリン等は改善ないし横ばいの傾向であった。環境DNA調査では、捕獲調査では判別できないスナヤツメの生存域が確認されるなどの成果があった。河川整備事業実施後の生物調査については、事業実施後については生物種の増加が認められ、生態系への好影響が想定されることが報告された。

【 議題 2 】 令和5年度点検結果報告書について

- 各事業の進捗率を基に事業の実施状況について説明があり、概ね順調に実施されていることを確認した。委員会後、各委員が気付いた点などを修正案として事務局へ送付することとした。